

# NOW 大商女性会 第5号

編集発行  
大阪商工会議所女性会  
大阪市中央区本町橋2-8  
TEL 06-6944-6212  
FAX 06-6944-6250



更なる飛躍を

世界大会に参加して

念すれば花開く——かねてよりの念願であつた「世界商工会議所大会への参加」の夢叶い、勇躍大商女性会一行は、去る六月六日夕方、開催地ソウルに飛んだ。正副会長、各委員長、常任委員、会員夫々の代表者計十六名。女性經營者が団体で参加したのは、私達が大商女性会のみであつたため、内外から大きな注目を浴びる事ができた。

世界九十ヶ国から二二〇〇名が参加、開会式では、金大中大統領が基調講演をされ、大商・田代会頭も「商工会議所の世界的ネットワーク作り」と題するスピーチを、実際に流暢な英語で語られた。余りの素晴らしさに感動した私は、思わず立ち上つて、拍手、拍手、拍手。閉会晩餐会には、見事な伝統芸能が次々披露され、改めて韓国の歴史の重みをかみしめた。

折角のチャンスなので、大会のみにとどまらず、是非とも韓国の女性經營



事、更には最近の活動について、過分のお誉めのお言葉をいただき、みんなすっかり嬉しくなってしまった。

従来の海外研修とは異り、今回は三つの大きな収穫があつたと思う。①世界的な国際会議の現場を体験できた。②発展著しい韓国の現状には目をみはるものがあつた。③韓国を代表する有力な女性経営者の団体と、広い分野で様々な意見交換ができた。

去る七月五日の日経夕刊の第一面に、今回の大商女性会活動の記事が掲載され、社会から当女性会に寄せて下さる信頼と期待に、身のひきしまる責任を感じた。

篠原常務のお骨折りにより、「韓国女性  
経済人協会」の会長、副会長はじめ、  
支部長、理事等二十二名もの幹部の  
方々が、各地よりお集りいただき、和  
氣藹藹<sup>アツアツ</sup>の中、相互の活動状況の報告や  
今後の交流等々、実に活発に話し合つ  
た。世界貿易センタービル51階の、す

はらしい展望 素敵な会場を御用意いただき、懇談の後には、韓国側主催による晩餐の集い、行き届いたあたたかなご配慮と優しい笑顔に包まれ、ご馳走に舌鼓うちつつ、忘れ得ぬ思い出を深く胸に刻む夕べであつた。この度を契機に、一層交流の輪を広げるため

平成13年8月発行

## 新入会員ご紹介 －1月度～7月度－ (順不同)

(順不同)



破れ綻びを直すのは母親の夜なべの姿でした。食事にしてもご飯を残さない、こぼさない、食べ物をそまつにすると罰が当るといわれたものです。これらのことは、物がなかつたという一面はあります。が、今で言う「リサイクル」ではあります。排出も少なく、空気もきれいであったと思います。それが今はどうでしょう!! いつのまにか「使い捨て」があたりまえの中になってしましました。

レザー、人造皮革、接着剤、印刷インク、雑貨等のなかに潜んでいるフタル酸系の物質。その他数え上げればきりがないほどの種類の環境ホルモンが原因と考えられています。その中でも、過日社会問題となつた能勢のごみ焼却炉から検出されたダイオキシン類は、攪乱物質として生殖毒性を持つだけではなく、一般毒性、免疫毒性、発ガン性等があり、ごみの燃焼過程において発生する訳ですから、現在のように物を使い捨ててごみとして焼却するとと言うシステムを放置して良いものでしようか。

私たちの子孫の事を考えると、環境ホルモンを含む製品を利便性のみを追いかけ、眼をつぶつて使い続けるか否かの判断をしなければならない時機だと思います。この使い捨て社会のシステムを否定するならば、私たちは大変不自由な思いをすることは確かです。又経済も縮小され一時的に不景気な世の中になりますことも考えますが、私たちの子孫の繁栄を考えるならば、おのずと結論は導き出せると思います。あせらず、ゆづくりと目を見開いて歩く事が大切ではないでしょうか。

## 環境について考える

浅井 富志子

夕刻「ふじ子、お醤油買ってきて」と、台所から母の声。小学生の私は、いつも通り一升瓶を持って、近所のお店に醤油を買いに行きました。私たちの子供の頃は、それがあたりまわりでございました。

下や精子奇形率の増加等が研究者より報告されていると言う事です。

終りに一言。  
この度のツアーハ、終始快適に、滞りなく運べたのは、ひとえに同行してくれた豊島課長の、休む暇もない程の奔走・気配りに支えられてのことと、改めで感謝申し上げます。

世界大会への参加を、新たな飛躍台としてきびしい不況に屈することなく、前進又前進の、ファイト溢れる日々を目指しましよう。

(オザックス株取締役相談役)

